

# 東住吉区将来ビジョン(2016-2020)

～ゆめ・だんらん・ひがしすみよし～



大阪市東住吉区役所



## 目 次

1	東住吉区の概況・特性 .....	1
2	将来ビジョン策定の趣旨 .....	1
3	これまでの経過一覧 .....	2
4	データやアンケートでわかったこと .....	5
5	東住吉区の将来像 .....	10
6	5年後の目標 .....	11
7	目標実現のための成果目標と視点 .....	12
8	将来ビジョン推進に向けて .....	15
9	これまでの経過表 .....	16

## 1 東住吉区の概況・特性

大阪市東住吉区は、大阪市の南東に位置し、阿倍野区、住吉区、平野区、生野区、松原市と隣接しています。

区域の南北は約 6.4km、東西は約 2.8km と南北に長く、面積は 9.75 km<sup>2</sup>で、大阪市内 8 番目の広さをもっています。

区内には、J R 関西本線や阪和線、近鉄南大阪線、大阪市営地下鉄谷町線が運行し、天王寺駅や大阪阿部野橋駅へアクセスしやすいエリアとなっています。

近鉄南大阪線の針中野駅近くには大阪を代表する商店街である駒川商店街が、J R 関西本線の東部市場駅近くには大阪市東部中央卸売市場があります。また、J R 阪和線の鶴ヶ丘駅近くにある長居公園には、セレッソ大阪の本拠地であり国際的な大会も開かれる長居競技場のほか、自然史博物館や長居植物園、長居ユースホテルなど数多くの施設が立地しています。

区の面積の半分近くは住居系施設が占めており、閑静な住宅エリアです。



## 2 将来ビジョン策定の趣旨

区将来ビジョンは、区長が区内の基礎自治行政を総合的に推進していく上で、地域としての区のめざすべき将来像、将来像の実現に向けた施策展開の方向性等をとりまとめ、区民の方々に明らかにするものとして、平成 25 年 4 月に 24 区すべてで作成、公開されました。

東住吉区役所も、平成 27 年度末を目標に、「東住吉区将来ビジョン (2013-2015)」を策定しましたが、期限を迎えたことから、現在の社会情勢等を踏まえた、新しい将来ビジョンを策定することになりました。



策定するにあたり、「区民が“共感”できるビジョンに」「区民が“主役”のまちづくりの指針に」なるよう、策定過程に力を入れて取組を進めてきました。

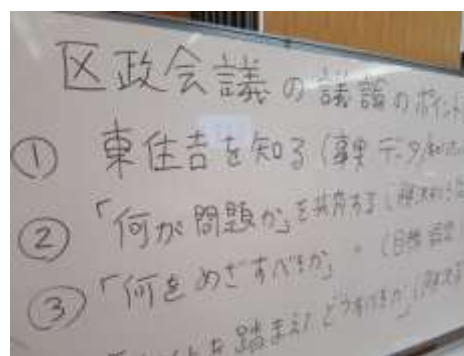
住む、働く、学ぶなど東住吉区に関わるさまざまな人が力を合わせてまちづくりに取り組むために共有する目標として、この将来ビジョンを定めます。

### 3 これまでの経過一覧

#### (1) 区政会議での取り組み

##### ① 東住吉区の現状分析をもとにした意見交換 (平成 26 年度)

6 月 12 日の第 2 回区政会議本会議で提示した「東住吉区の現状分析」をもとに、区政会議の委員同士で意見交換されました。以後、延べ 7 回にわたり意見交換を重ね、10 月 21 日付け「平成 26 年



度東住吉区区政会議からの提言」として、意見が整理されました。

提言では、東住吉のめざす姿として、「あらゆる世代が健やかパワー発揮できる便利で安心な区」「子どもから高齢者の方まで区民みんなが家族(ファミリー)のように見守るあたたかいまち」の 2 つが示されました。

② 新・将来ビジョン策定準備に向けた意見交換（平成 27 年度）

6 月 26 日の第 1 回区政会議本会議をはじめ、延べ 5 回にわたり「区の将来に向けた施策・事業のあり方について～幅広い区民参画のために～」をもとに意見交換を重ね、9 月 29 日付け「平成 27 年度東住吉区区政会議からの報告書」として、意見が整理されました。



これらを踏まえた「今後の進め方について（案）」をもとに、12 月 9 日の第 3 回区政会議本会議で意見交換されました。

③ 新・将来ビジョン策定に向けた意見交換（平成 28 年度）

平成 28 年度末までに策定するための具体的な取組内容とスケジュールについて、「区の将来ビジョン策定に向けて（案）」をもとに、5 月 30 日の第 1 回区政会議本会議で意見交換されるとともに、策定に向けて委員も主体的に参加することとなりました。



(2) 区民参画型の取り組み（平成 28 年度）

① “テーマ” を区民とともに（6～8 月）

人口データ上、特に区外への転出傾向が著しいことが明らかになった子育て層の方々がこのまちの住みやすさをどう評価しているのかを知るために、14 地域すべての親子サロンや駒川商店街で開催さ



れた駒川まつりなど 24 ヶ所を区政会議委員と区役所職員と一緒にヒアリングを行い、348 名から意見をいただきました。

② “アクション” を区民とともに (9～12 月)

9 月 22 日に開催した「東住吉ゆめ・まちフォーラム～一緒に探しませんか、こどもたちの未来を～」には 60 名が参加し、「このまちのいいところ、変えたほうがいいところ」「私が子どもたちの未来のためにできること」を参加者同士で話し合いました。



また、データを活用し地域課題を解決するコンテスト (チャレンジ!!オープンガバナンス 2016) に大阪市東住吉区としてエントリーし、これまで積み重ねてきたデータを公開したうえで、課題 (子育て層が住み続けたいと感じるまちづくり) に対するアイデアを広く募集しました。

10 月には、まちを知りまちへの愛着を高めるため、近畿大学総合社会学部の学生に企画協力いただき、“一押し” “新発見” した風景を写真に撮影、投稿いただく「東住吉をあるこうキャンペーン」を展開、139 枚の写真をいただきました。



また、10 月 23 日に駒川商店街近郊、同月 29 日に北田辺近郊で、ガイド付きまちあるきツアーを開催し、延べ 21 名が参加しました。

そのほか、より多くの方に取り組みを知っていただくため、新たな広報媒体 (フェイスブック、インスタグラム) を立ち上げました。



## 4 データやアンケートでわかったこと

### (1) 人口データ

図1によると、昭和50年の人口を100とすると、平成27年の人口は、73と、他区に比べて落ち込み具合が激しい状況にあります。5年ごとに行われる国勢調査でも、平成12年以降、5年毎に4,000人超が減少する傾向が続いています。

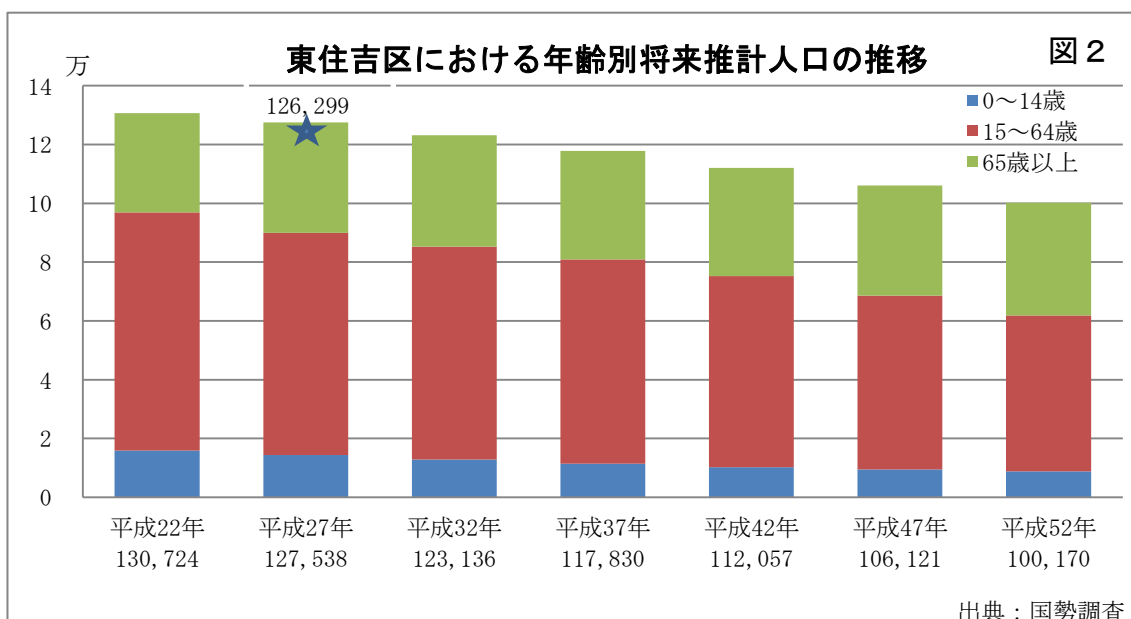
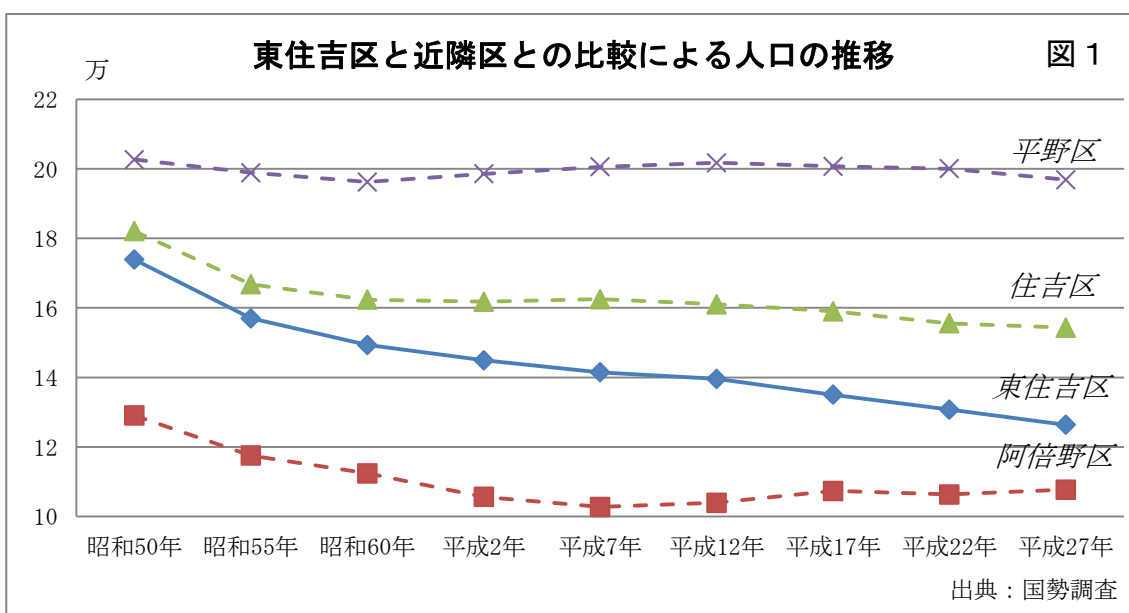




図2で、国立社会保障・人口問題研究所が公開している、平成22年の国勢調査をもとにした平成52年までの将来推計人口の推移を示しています。この時点で予測された平成27年の推計人口が127,538人であったのに対し、平成27年に行われた国勢調査では126,299人となり、予測以上に東住吉区の人口が減少していることが明らかになりました。

人口減少の要因として、自然動態として死亡数が出生数を上回る場合と、社会動態として転出数が転入数を上回る場合があります。

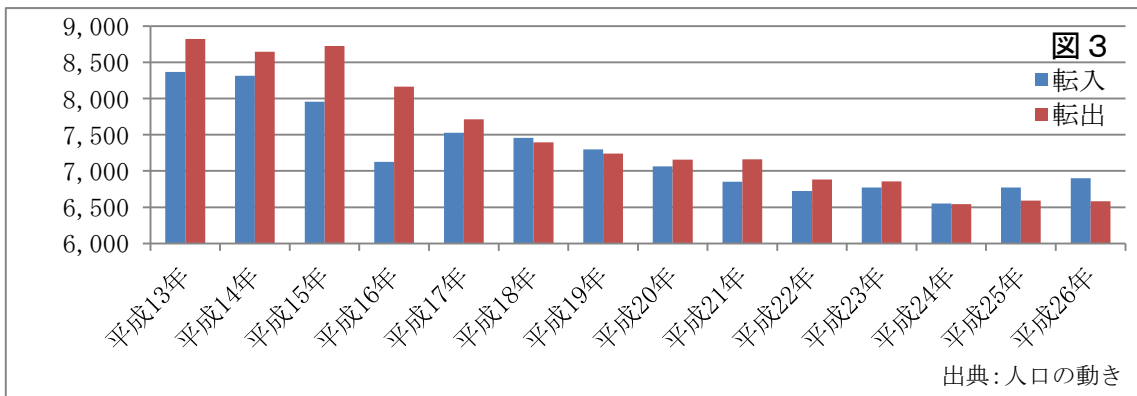
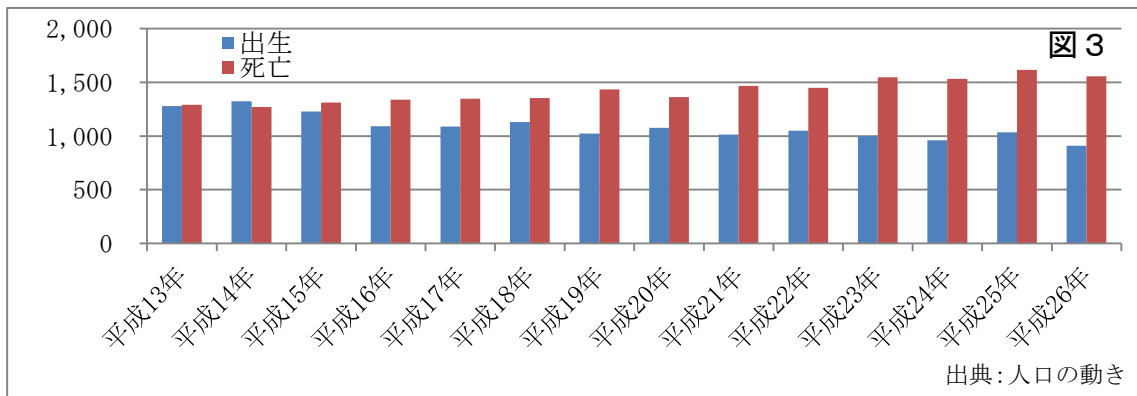


図3で、平成13年からの人口の動きをグラフにしました。

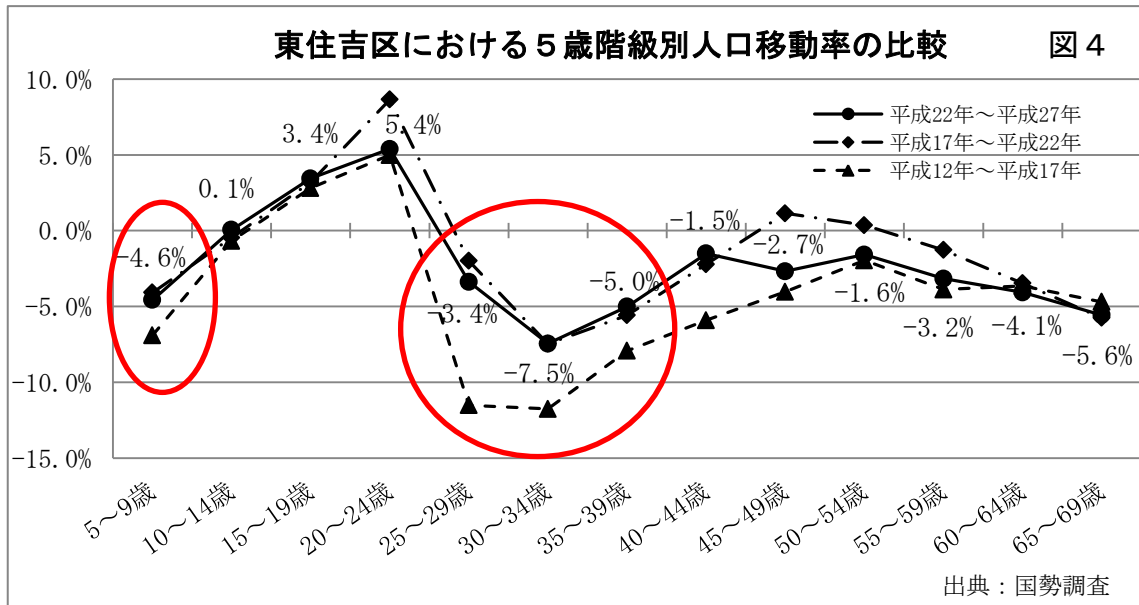
自然動態としては、死亡数が出生数を上回る状態が続いていますが、社会動態は、平成24年から転入数が転出数を上回り、少しずつ転入超過の傾向が続いています。

図4では、どの年代が人口減少の要因なのかが明らかになりました。

このグラフの見方は、5年後も当該年代が定住していると0.0%、転入

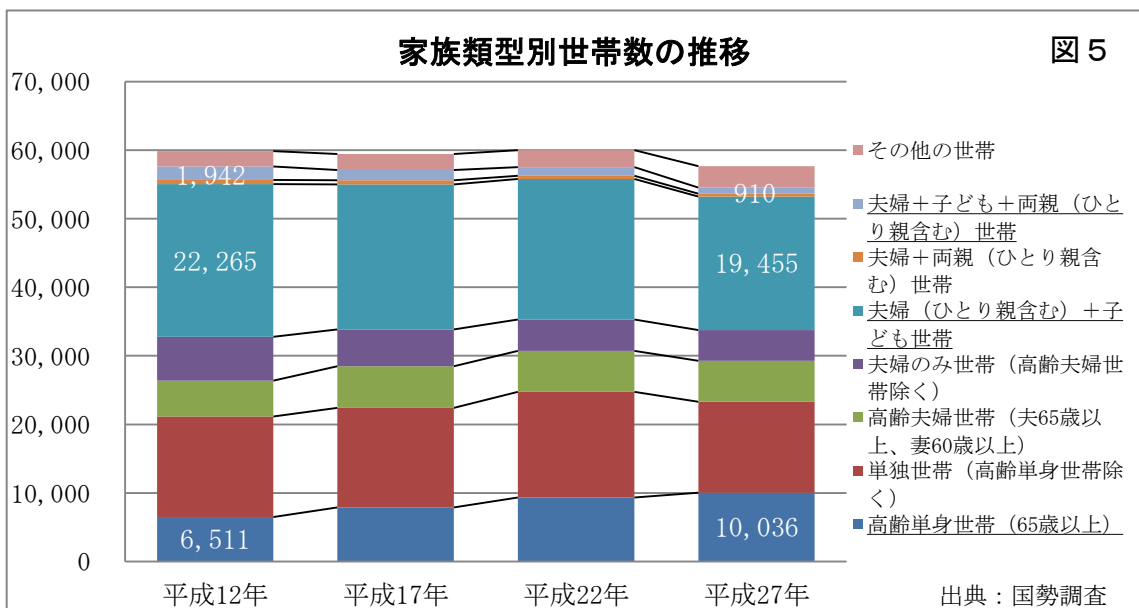
超過だと+（プラス）、転出超過だと-（マイナス）になります。

小学校就学前後までの子と 25～39 歳の方のマイナスが顕著であり、子育て層の転出が推測され、ここ 15 年ほど続いていることがわかります。



最後に、東住吉区の世帯構成を現したのが図5です。

平成12年と27年を比較して、「高齢単身世帯（65歳以上）」が1.5倍に増える一方、「夫婦（ひとり親を含む）+子ども世帯」が1割減っています。3世代世帯数は全世帯数の2.7%を占め、24区中2番目に多いです。



## (2) 人口以外の特性

お住まいになってよかったと思うこと、こうなったらいいのと思うことについて、平成 28 年 10～11 月に、無作為抽出した区民 1,500 名の方にアンケート調査を行いました。

### ① 住んでいてよかったと思うこと

「交通アクセスが良い」は 7～8 割の方が選ばれました。

「長居公園がある」「静かで落ち着いている」は 5 割の方が選ばれました。24 区中 9 番目に公園数が多い環境にあることから、緑が多い、自然に触れ合えるイメージが持たれています。区面積の約 9%を公園が占め、24 区中 3 番目に一人あたりの公園面積が広いです。

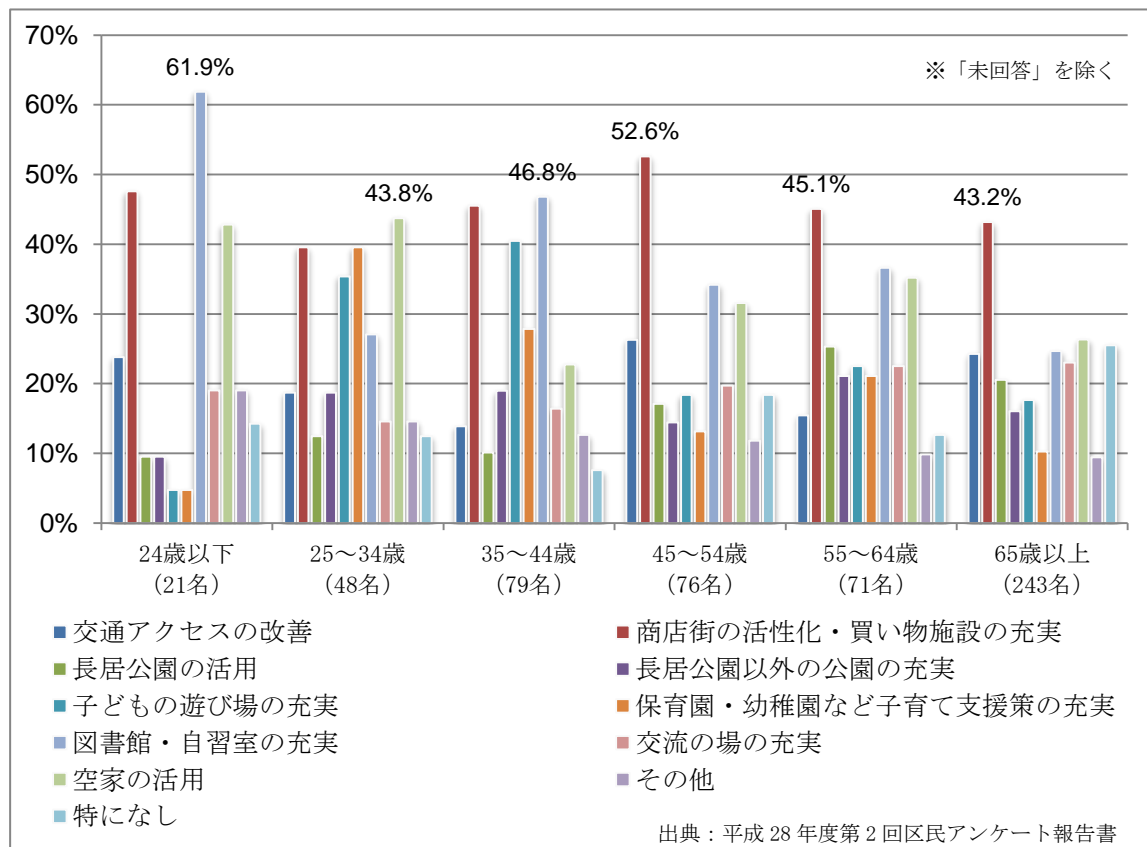
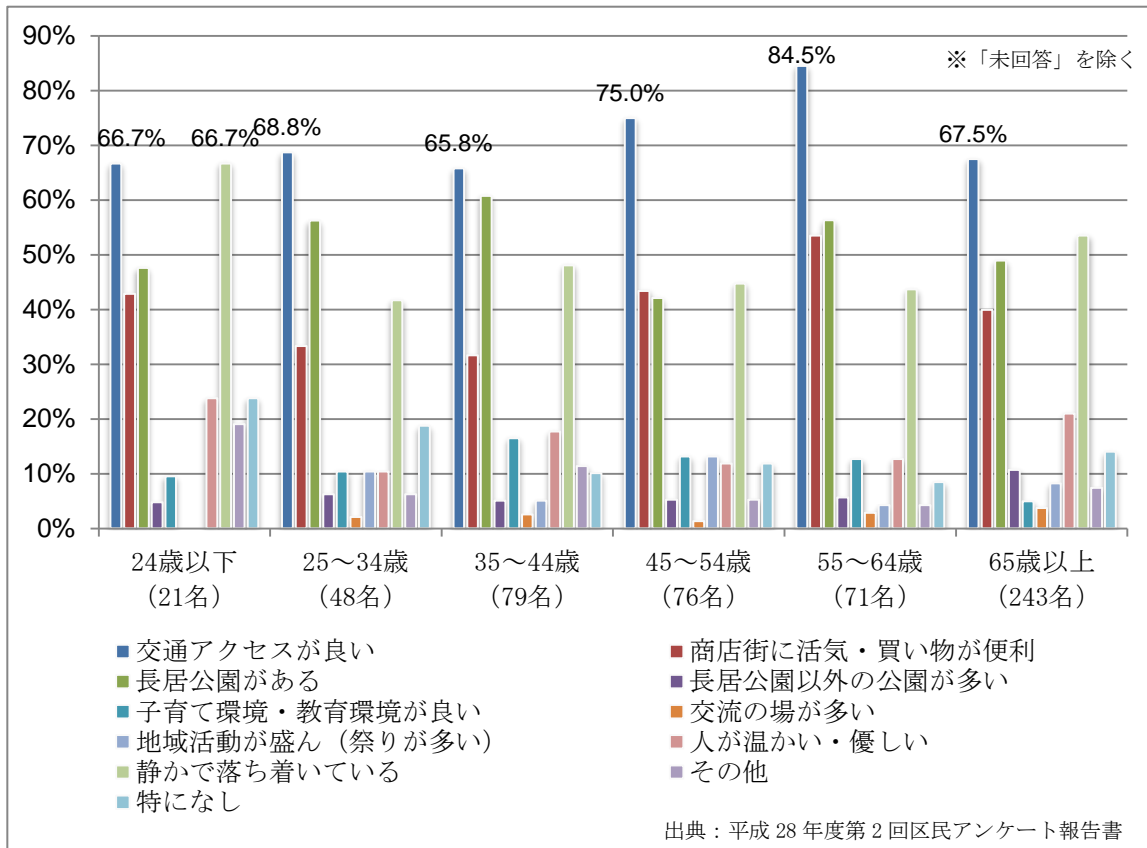
「商店街に活気・買い物が便利」は 4 割の方が選ばれました。駒川商店街をはじめ、24 区中 3 番目に商店会数が多い状況にあります。

### ② 住んでいてこうなったらいいのと思うこと

「商店街の活性化・買い物施設の充実」は 4 割から 5 割の方が選ばれました。商店会数は多いものの、商店街が活性化してほしい、商業施設が増えてほしい、という声が多い状況です。

「図書館・自習室の充実」は 3 割の方が選ばれましたが、35～44 歳では 5 割近くの方が選ばれました。東住吉図書館は、24 区中 18 番目の蔵書数と延べ床面積です。知の拠点として 3 大学あり、大阪城南女子短期大学と東住吉区役所は、平成 28 年 1 月 22 日に包括連携協定を締結しました。

「空家の活用」は 3 割の方が選ばれました。24 区で最も空家率が高く、24 区中 4 番目に空家数が多い状況です。



## 5 東住吉区の将来像

このように、東住吉区の人口は減少を続けており、このままの状態が続くと、まちの活力が総体的に下がり、ひいてはまちの魅力や満足度が低下する可能性もあります。

しかし、都心へのアクセスが良く、静かで落ち着いたまちであること、また商店会や大学が多いことなど、このまちの特性を見つめ、“東住吉らしさ”をうまく活かしたまちづくりができるよう、めざすべき将来像を定めます。

子どもが輝き、みんながしあわせなまち

～ゆめ・だんらん・ひがしすみよし～



## 6 5年後の目標

### (1) 子育て層が住みたい、住み続けたいと思うまちにしましょう！

東住吉区は、子どもたちがいきいきと育み、子育て層が安心して子育てができる環境づくりを促すと共に、まちのステキを感じる空間づくりを進めます。

24区中3番目に幼稚園数が多く、子育て親子の交流等の場であるつどいの広場施設数も2番目に多いです。待機児童数はほぼゼロです。しかし近年、子育て層の転出傾向が見受けられることから、まず子育て層の定住を促すまちづくりを進める必要があります。

### (2) 誰もが安心して心豊かに暮らせるまちにしましょう！

東住吉区は、すべての区民が安心して過ごすことができるよう、地域力を結集したまちづくりを、そして健やかで心豊かに暮らせるまちづくりを進めます。

24区中8番目に街頭犯罪発生件数が多く、24区中9番目に交通事故発生件数が多い状況です。子育て層の定住を図るためにも、まちづくりの基本である安全安心を要としたまちづくりをさらに進める必要があります。

### (3) みんながつながるまちにしましょう！

東住吉区は、住民・地域団体・NPO・企業等あらゆる地域資源が繋がり、地域社会への関心を高め、自らの地域を自らの力で高めるまちづくりを進めます。

情報さえあれば地域活動に参加したい人は3割を超え、日常生活で困っている人の力になりたい人は8割います。24区中事業所数が8番目に多い状況です。つながりや助け合いができるコミュニティを深めることが重要と考えます。

## 7 目標実現のための成果目標と視点

### (1) 子育て層が住みたい、住み続けたいと思うまちにしましょう！

**成果目標** 5年後の子育て層(25～44歳)の人口増

**これからの視点**

#### ① 子どもたちのゆめを広げましょう！

このまちに住むすべての子どもたちが夢を持つことができる環境をみんなで整え、その夢をまわりの大人が応援し、支えるまちにしましょう。



#### ② 子育てのまち・教育のまちにしましょう！

住む場所を決める際に重要な要素は、そのまちの子育て環境と教育環境と言われています。園や学校だけでなく、まわりの大人や地域などすべての人の力を結集して、子どもたちの未来のために、このまちの環境を作り上げましょう。



#### ③ おしゃれスポットを増やしましょう！

子育て中の保護者同士が集まりたい、こどもを連れて遊びに行きたい、と思えるおしゃれスポットを発掘して、まちの魅力を高めませんか。また、オリジナルのおしゃれスポットを自分たちの手で創ることもあります。





## (2) 誰もが安心して心豊かに暮らせるまちにしましょう！

**成果目標** 平成 28 年に比べ「とても住みやすい」と評価する区民増

**これからの視点**

### ④ 不安ゼロのまちにしましょう！

誰もが安心して暮らせるよう、安全安心なまちの実現をめざして、地域のあらゆる力を結集していかなければなりません。警察署や消防署、区役所だけでなく、一人ひとりの心がけを大切にしましょう。



### ⑤ みんな健康で元気になりましょう！

自分の体の状態を客観的に知り適切なケアをするよう一人ひとりが心がけるとともに、心身ともに楽しく健康で元気でいられるよう日常生活を過ごしましょう。



### ⑥ 緑豊かでキレイなまちにしましょう！

自然環境が豊かという特性を活かし、より緑を増やすとともに、まちの景観を維持するためにも、一人ひとりがまちをキレイにするという意識を持ち、行動しましょう。



### (3) みんながつながるまちにしましょう！

**成果目標** 平成 28 年に比べ「相談しあえる仲間が増」と感じる区民増

**これからの視点**

#### ⑦ 困ったときはお互い様のまちにしましょう！

優しい人・温かい人が多いと実感されている区  
の特性を活かし、普段から相談できる仲間を  
増やすとともに、困っている人、悩んでいる人  
がいればお互いさまの精神で、できる範囲で助  
け合いましょう。



#### ⑧ リアルなつながりを増やしましょう！

今後ますますインターネットや SNS  
を活用したまちづくりは欠かせませ  
んが、顔の見える関係を構築すること  
の大切さも、以前にも増して重要にな  
っています。

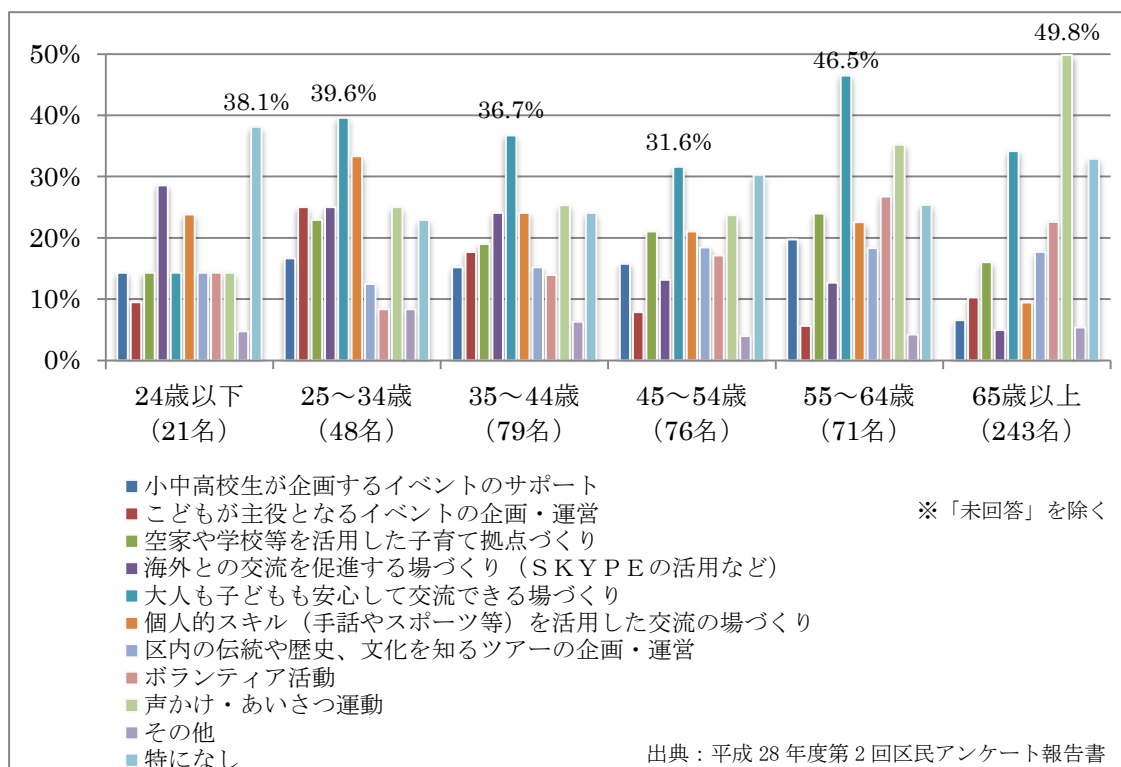


また、様々なスキルを持つ住民・地域団体・NPO・企業などが出  
会い、パズルのピースのように組み合わせることで、一つの力が無限に広  
がり、新たな可能性が生まれます。

地域それぞれの特性を活かし、あらゆる世代の方が顔を合わせながら  
楽しく元気に活動し、東住吉区全体の地域力向上につなげましょう。

## 8 将来ビジョン推進に向けて

「子どもたちの未来のために、他の人と一緒にやってもいいと思うこと」を、無作為抽出した区民 1,500 名にアンケートでお伺いしたところ、最も多いのは「声かけ・あいさつ運動」で、65 歳以上の方の半数が選ばれました。次に多いのは「大人も子どもも安心して交流できる場づくり」で、55～64 歳の方の半数が選ばれました。そのほか、55 歳以上の方に多いのが「ボランティア活動」、44 歳以下の方に多いのが「海外との交流を促進する場づくり」でした。



将来像の実現に向けては、このまちに関わるみなさまで、何ができるかを考え、小さなことからでも行動に移していただく必要があります。

区役所も、ビジョンで掲げた目標の実現に向けて施策を推進するとともに、みなさまに考えていただくきっかけを積極的に設け、まちのセールスマンとして東住吉を区内外にPRするなど、みなさまと一緒に取り組んでまいります。

なお、区役所の単年度ごとの具体的取組は、「区運営方針」に掲載しています。

## 9 これまでの経過表

年月日	会議等
平成 26 年 6 月 12 日	第 2 回区政会議本会議
6 月 17 日	第 1 回子育て・福祉・健康部会
6 月 27 日	第 1 回地域まちづくり部会
7 月 24 日	第 2 回地域まちづくり部会
7 月 29 日	第 2 回子育て・福祉・健康部会
8 月 25 日	第 3 回子育て・福祉・健康部会
8 月 29 日	第 3 回地域まちづくり部会
9 月 26 日	第 3 回区政会議本会議
10 月 21 日	平成 26 年度東住吉区区政会議からの提言
平成 27 年 6 月 26 日	第 1 回区政会議本会議
7 月 30 日	第 1 回地域まちづくり部会
8 月 5 日	第 1 回子育て・福祉・健康部会
9 月 4 日	第 2 回地域まちづくり部会
9 月 10 日	第 2 回子育て・福祉・健康部会
9 月 28 日	第 2 回区政会議本会議
9 月 29 日	平成 27 年度東住吉区区政会議からの報告書
12 月 9 日	第 3 回区政会議本会議
平成 28 年 5 月 30 日	第 1 回区政会議本会議
6 月 22 日	主に子育て層のいる 24 ヶ所へヒアリング
～8 月 31 日	(WEB アンケートを含む)
9 月 8 日	第 2 回区政会議本会議
9 月 22 日	東住吉ゆめ・まちフォーラム
10 月	東住吉をあるこうキャンペーン
10 月 23 日	ガイド付きまちあるきツアー (駒川商店街)
10 月 29 日	ガイド付きまちあるきツアー (北田辺近郊)
12 月 21 日	第 3 回区政会議本会議

